



## 平成20年度第2回研修会報告



日本貿易振興機構アジア経済研究所

11月14日(金曜日)、日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館を会場に、32名の参加を得て今年度の第2回研修会を開催しました。

今回は、韓国からの講師をお招きしての講演、その後、日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館の事例報告と施設の見学を実施しました。

日程・内容は下記のとおりです。

- |             |  |
|-------------|--|
| ○ 講演会       | 午後2時00分～3時40分                                      |
| ・講師         | 安 泰慶 氏 (韓国対外経済政策研究院知識情報室長)                         |
| ・テーマ        | 「韓国図書館における情報提供の状況」<br>－韓国の機関リポジトリを中心として－           |
| ○ 事例報告・施設見学 | 午後3時50分～5時10分                                      |
| ・報告者        | 加藤 真穂 氏 (日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館)                      |
| ・テーマ        | 「アジア経済研究所図書館デジタルアーカイブスについて」<br>－資料利用促進の取り組みと電子図書館－ |

### 【講師紹介】 あん てぎょん 安 泰慶 氏 (韓国対外経済政策研究院知識情報室長)

韓国の明知大学で修士号を、2001年に中央大学で博士号を授与されました。

専門は、セマンティックウェブ、情報マネジメント、デジタル図書館で、情報検索や情報マネジメントについての論文が多数発表されております。

昭和60年から平成元年まで韓国科学技術情報院の図書館情報部に勤務されたのち、韓国社会科学情報資料機関協議会、韓国情報マネジメント学会、韓国情報探索委員会などのメンバーとして活躍されています。

平成10年には、韓国対外経済政策研究院知識情報室首席司書になられ、平成18年に知識情報室長に就任されました。

現在は、日本貿易振興機構アジア経済研究所客員研究員をされております。



〈講演中の安 泰慶 氏〉

# 1 講演会報告

## 「韓国図書館における情報提供の状況」の講演を聞いて

千葉経済大学総合図書館 古賀 実生

今年度第2回目の研修会で、韓国対外経済政策研究院知識情報室長で日本貿易振興機構アジア経済研究所の客員研究員でもある安泰慶氏の講演が行われました。テーマは「韓国図書館における情報提供の状況」で、韓国の機関リポジトリの種類と現況、問題点などについて数値データを交え具体的に話されました。

機関リポジトリとは「大学や研究機関が主体となって所属研究者の知的生産物を電子的に収集、蓄積、提供するシステム、またはそのサービス」（「図書館情報学用語辞典第3版」丸善）とされているものですが、現時点では、日本国内の機関リポジトリについても広く認知されている状況ではありません。安氏の講演は機関リポジトリがどういうものか知るうえで非常に良い機会になり有益なものとなりました。

以下は講演の概要です。

最初に、国家的事業である韓国国家知識情報資源管理事業（国家電子図書館）について説明がありました。この事業は重要分野の資料をデジタル化（2006年2.7億件）するとともに、デジタル化されている論文、研究報告書を自動登録システムにより国家知識ポータルに登録し、各機関別の知識情報資源を統合し一元的に検索できるように運営しているものです。

続いて、KERIS、IKIS、KIEP、KOASASの個々の機関リポジトリについて、運営状況と普及状況等について解説されました。

国内のNIIに類した機関であるKERIS（韓国教育学術情報院）のデジタルリポジトリdCollectionに関して、学位論文・学術誌論文の大学別の件数やダウンロード件数等による利用状況、運営現況について説明があり、運営結果分析による問題点（学術資源収集の難しさ）が示されました。

IKIS（Institute Knowledge Inventory）Repository Projectは、経済・人文社会分野の政府関連研究機関で作成された研究報告書と定期刊行物のメタデータと原文を提供する事業で、その構築データ数やHPでの検索画面等について紹介されました。

国内のアジア経済研究所に類した機関であるKIEP（対外経済政策研究院）の機関リポジトリでは、Dspaceを採択し、Web掲載研究成果に検索機能を持たせています。運用の際の諸問題やDspaceを使用する際の漢字処理などの問題点についても説明がありました。また、BRICs Information Center Projectについても紹介されました。BRICs Infoの多種多様な情報提供内容（BRICs動向、研究資料、セミナーの動画など）と頻繁に更新されるその周期、数多くの件数についても説明がありました。

KOASASは、DspaceシステムをKAIST科学図書館の環境に合わせて構築したシステムで、KAISTの主に自然科学・科学技術分野の研究成果を提供しています。ログ分析によるリポジトリの活用現況や著作権帰属について、学会が把握しきれていない現況などの問題点を含め説明されました。

以上のように、様々な情報資源が急速に蓄積されて公開されていく反面、環境整備や運用面での体系的な対応が追いつかない状況にあるようです。偏りのない網羅的な学術資源の収集体制作り、安定的な原文提供体制と資源登録の勧奨、機関リポジトリにたいする認知度、普及のための広報活動など、我が国でも同様の問題が示されているように感じました。



（講演中の安泰慶氏（右）と通訳の荻野星珠氏）



〈 研修会風景 ① 〉

いずれにしても、貴重な講演をきっかけに国内外の機関リポジトリにアクセスをして、その“手触り”を実感することが必要だと思います。自分にとってどう役立つのかという感触、判断を含め、「機関リポジトリ」の社会的役割をあらためて考えていきたいと思います。

最後になりましたが、日頃接することの少ない貴重な情報を提供していただいた安氏と共に、質疑応答を含め丁寧な通訳をしていただいた荻野星珠さんに改めて感謝いたします。

## 2 事例報告

### 「アジア経済研究所図書館 デジタルアーカイブスについて」 ～資料利用促進の取り組みと電子図書館～

日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館 加藤 真穂

デジタルアーカイブスの構築を中心に、資料利用促進の取り組みと電子図書館について当館の事例を報告させていただきました。

以下はその概要です。

アジア経済研究所図書館は、研究所が実施する開発途上地域を対象とした調査研究を支援すると同時に、設立当初より開発途上地域資料センターを目指し一般公開を実施してきました。

施設移転に伴う来館者数の減少といった事業環境や、情報化社会に即したサービス展開の必要性から、利用形態を問わず利用者のニーズに対応できるよう、資料・情報の利用拡大に重点を置いた情報発信・非来館型サービスの展開、つまり、電子図書館機能の強化に近年取り組んできました。

第一段階として、2003年より蔵書の書誌情報を中心とした情報発信の強化を図りました。遡及的にデータベース化に取り組んだ結果、一部資料を除いたほぼ全ての蔵書がOPACで検索可能となっています。プッシュ型サービスでは、登録者に特定地域・分野の資料情報をメールで配信するSDI・新着アラートサービスを実施しています。また、利用者が蔵書や関連情報にアクセスしやすいよう、地域別に資料情報を提供するページを設けるなどウェブサイトの拡充にも努めてきました。

第二段階として、デジタルアーカイブスの構築に取りかかりました。構築準備は、2003年度より作業部会を中心に開始しました。技術的な問題や人材確保など多くの懸案事項を抱えていましたが、まず、所内の研究者を交えた検討会を行い、研究リソースとして電子化やデータベース化が必要なもの、研究所の研究成果で電子化し広く活用されるべき出版物、といった観点から電子化対象資料を選び、具体的なイメージ作りからはじめました。また、外部の専門家を招いて勉強会を行い、電子図書館の基本コンセプトを「研究所の研究成果と図書館の集積した資料・情報を有機的に統合し、国内外関係機関と連携して組織横断的な開発途上地域研究に関するポータルサイトの構築を図る。これによって、開発途上地域研究のための持続的な知識の創造を支える図書館を目指す。」と位置づけました。2005年度より実際に構築作業を開始し、これまでに以下の6つのコンテンツを構築し公開いたしました。



〈アジア経済研究所図書館 加藤氏〉

- 【岸幸一コレクション】戦前の南方軍政・海軍関係資料を電子化し、解題とともに公開
- 【近現代アジアのなかの日本】全国的な旧植民地関係資料総合目録のデータベース化と重要資料を電子化して公開
- 【アジ研出版物デジタルアーカイブス (AIDE)】研究所の調査研究の成果物約5千点を全文電子化して公開
- 【アジア動向データベース】1970年創刊の“アジア動向年報”をデータベース化して公開
- 【「日本の経験」を伝える: 技術の移転・変容・開発】国連大学受託プロジェクトの成果を電子化し、解説付きで公開
- 【フォトアーカイブス】1960年代の開発途上国で撮影された写真資料を電子画像化して公開

公開中のデジタルアーカイブスは、対象をアジ研図書館が所蔵する貴重書・稀少書及び、研究所の研究成果としています。提供にあたっては、メタデータを検索して電子データを見せるだけでなく、ひとつの塊としてコンテンツを組織化し、解説とともに見せるなど付加価値をつけた提供方法を意識し、ブラウザ機能と検索機能の両面を装備させています。また、OPACの書誌情報や関連情報へのリンクなどの拡張性も図りました。



〈 研修会風景 ② 〉

デジタルアーカイブス公開の効果として、電子化という媒体の変化により、資料・情報へのアクセス経路が拡大したことがあげられます。それまでばらばらに埋もれていた資料・情報が塊のあるコレクションとして顕在化したこと、素材の活用方法が広がったという点に見られます。次に、ハイブリッド図書館の方向性が見えてきたことです。歴史資料については、現物を手に取って見たいというニーズが高いこともわかり、現物保存の重要性を再認識しました。また、構築作業を通じて多くの関係者、関係諸機関との連携関係を築くことができました。

今後は、利便性をより高めるため、情報へのパスを整理すること、OPACとデジタルアーカイブスの相互参照や、統合検索の仕組みを検討していくことなどが課題となっています。また、上述の電子図書館の基本コンセプトに少しずつ実態が近づいていけるよう取り組んでいきたいと考えています。

## 「加盟館紹介展」が実施されました！！

事務局

平成18年度から実施している「加盟館紹介展」は、「千葉市図書館情報ネットワーク協議会」について千葉市民に知ってもらい、加盟館を市民に利用してもらうことを目的に開催しています。

今年度は、10月30日（金）～11月9日（日）の期間、千葉市生涯学習センター1階のアトリウムガーデンを会場として実施しました。3回目とあって、どの館も趣向を凝らした掲示物で、自館の紹介に力を入れていました。また、見学者も多く、用意された資料を手に熱心に見入る姿がたくさん見かけられました。



加盟館紹介展の全景

協議会の説明  
加盟館マップ  
加盟館一覧





淑徳大学附属図書館  
千葉図書館  
放射線医学総合研究所図書室  
千葉県立中央図書館



敬愛大学・千葉敬愛短期大学メディアセンター  
千葉経済大学総合図書館  
神田外語大学附属図書館



東京情報大学情報サービスセンター  
東京歯科大学図書館  
植草学園大学図書館



メディア教育開発センター情報資料室  
 放送大学附属図書館  
 日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館



千葉明德短期大学図書館  
 千葉大学附属図書館  
 千葉美浜図書館



千葉市議会図書室  
 千葉市花見川図書館  
 千葉市みやこ図書館



千葉県教育センター図書資料室  
 千葉県美術館美術図書室  
 千葉県生涯学習センター調査・資料室  
 千葉県中央図書館

千葉県稲毛図書館  
 千葉県若葉図書館  
 千葉県緑図書館

千葉県図書館の配置図  
 千葉県図書館の利用の仕方

千葉県移動図書館



# 加盟館だより



## 神田外語大学附属図書館

「新図書館オープン」

神田外語大学附属図書館 丹羽 重之

本学は外国語学部の単科大学として語学力を重視しながら、その背景となる社会・文化はもちろんのこと、日本研究、国際関係研究、国際協力研究など、学生個々の多様な興味や目標にあったプログラムを提供しています。

附属図書館では、その学習・研究を支援するための資料を中心に収集しています。また、利用者が自ら必要な情報を収集・選択できるように、授業と連携して文献検索案内などを実施しています。

大学創立20周年記念事業として本年9月に新校舎7号館が竣工しました。図書館はこの建物の1階部分に全面移転し、9月16日に新図書館としてオープンしました。7号館には図書館の他に、2階に多言語コミュニケーションセンター(MULC)と呼ばれる言語文化体験・学習施設とセミナー室、ホールが、3階にはカフェがあります。また、屋上庭園からは本学全体を一望することができます。

### 【施設概要】

図書館部分の床面積 約3,800 m<sup>2</sup>  
蔵書数 約17万冊  
書架収容可能冊数 約22万冊  
座席数 350席



〈7号館の全景〉

### 〈一般の方の利用〉

当館では一般公開はしていませんが、所蔵資料の利用を希望する場合は、事前にインターネットなどで資料の所蔵を確認のうえ、市立図書館等の発行する紹介状と身分証明書を持参ください。資料の館内閲覧と複写サービスを利用できます。

~~~~~

### ◇千葉市図書館情報ネットワーク協議会ホームページ

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/ccal/index.html>

Network通信 No.30

2008年12月24日

発行：千葉市図書館情報ネットワーク協議会

事務局：千葉市中央図書館内

〒260-0045 千葉市中央区弁天3-7-7

Tel 043-287-4081 Fax 043-287-4074